



# 心 ゆたかに

心豊かな子どもたちに育ててほしいという願いを持ち、様々な方々と交流をしています。交流の中で感じた嬉しさや楽しさなど、プラスの感情だけではなく、悲しかったこと、恥ずかしかったことなども、子どもたちの心の育ちにつながる大切な経験です。また、色々な方と関わることで、人と関わる力、考える力、コミュニケーション力がつきます。

## 中学生交流

毎年2回、西箕輪中学の生徒さんが保育園交流に来てくれます。1回目は、子どもの発達の様子を知ることを目的に、2回目は、子どもの年齢に合ったおもちゃを作って持ってきてくれてそれで遊ぶことを目的に来てくれます。お兄ちゃんたちのダイナミックな遊び方や、お姉さんたちの優しいまなざしに、子どもたちの目はキラキラです。



## 脳いきいき交流



脳いきいきの方々と、温かくほんわかとした交流をさせていただいています。初めてお会いしたその日に、すっかり安心して甘える子どもたちでした。じゃんけんゲームでは、脳をしっかり使いみんな10歳は若返った感じでした。絵本の読み聞かせでは、ひざに入れてもらったり背中に寄りかかったりし、まるで自分のお家のおじいちゃんおばあちゃんに甘えているかのようでした。

## がるがるっこを育てよう!

「聞いたがる」「見たがる」「不思議がる」「知りたがる」「試してみたがる」「みつけたがる」「できるようになりたがる」・・・たくさんの“がるがるっ子”たちが、保育園で育っています。梅雨時に雨降り散歩に行った年中さん、「あ!山の中って、木が守ってくれるから、帽子とっても濡れないじゃん。」「なんかいい匂い」「雨なのにダチョウがいるよ。ダチョウは雨が好きなんだね」と素敵な“がるっ子”たち。保育園で飼っているイモリのエサがなくなったら、「イモリは何を食べるのかなあ」と図鑑で調べたり、みんなで話し合ったりした年長さん。イモリはどうも生きていて虫を食べるらしいと知った子どもたちは、「えー、かわいそう」「死んでる虫をやればいい」「命を分けてもらってるんだね」「ミミズも可哀そうだけど、イモリには生きていてほしいから、ありがたい気持ちであげる」など、自分の頭で考えて自分の言葉で話し合いをし、イモリのエサから命の大切さにも触れることが出来た“がるがるっ子”たちでした。子どもたちの気づきを大切にしながら、日々関わっていきます。

こんな素敵な子どもたちのことを、見守ってくださいね!!